



休眠預金新型コロナウイルス対応緊急支援助成(2022.3-2023.3)

# 生活困窮世帯や社会的孤立者への支援 もう一歩! 寄りそってみよう

～ 民間公益活動を支援し持続可能な中部圏の未来を創る ～



一般財団法人 中部圏地域創造ファンド

Chubu region Creative development Foundation

# 事業概要

## ■ 事業の目的

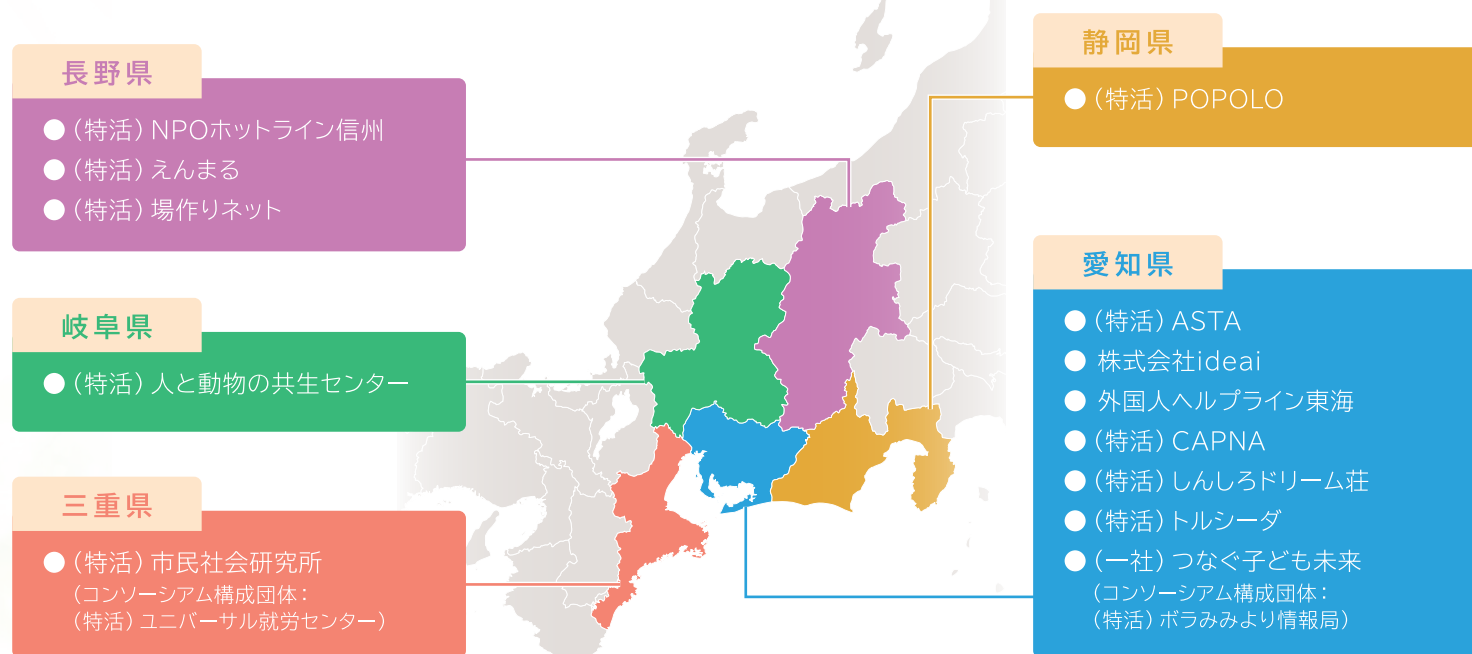
一般財団法人中部圏地域創造ファンド（以下CCFという）は、休眠預金2021年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成を受け、資金分配団体として、コロナ禍で社会経済的に一層深刻化する生活困窮世帯や社会的孤立者への支援を推進します。

## ■ 事業の内容

CCFの支援事業「生活困窮世帯や社会的孤立者への支援～明日をあきらめない～」は、生活困窮世帯や社会的孤立者が将来を展望できるように、①衣・食・住の提供、②寄り添い型生活相談の実践、③学習や就労の支援を実施する活動を助成対象とし、1年間、500～1000万円／団体の助成金を民間公益活動団体に提供しています。

中部5県（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県）から民間公益活動団体を公募して、事業の実行団体として13団体を選定し、各団体に対して資金支援するとともに円滑な事業の遂行や組織基盤強化に向けて、知見や情報の提供、各種の助言など伴走支援をしています。

## ■ 事業の実行団体（13団体）（2022.5-2023.2）



## 目次

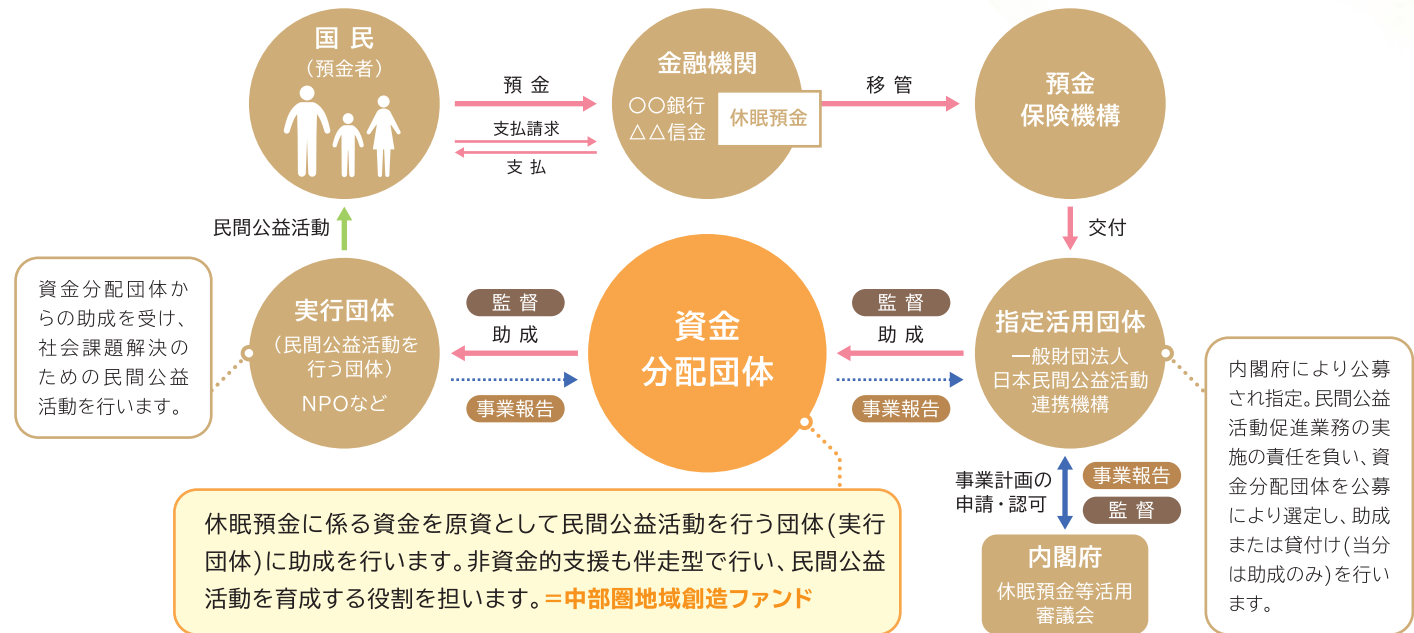
事業概要	p.01
実行団体活動内容	p.03
創発会議	p.08
一般財団法人 中部圏地域創造ファンド	p.09
中部圏地域創造ファンド 団体紹介	p.10

## ■スケジュール(2022~2023年)

2022年 3月22日~4月25日	応募期間 (4月4日・6日 公募説明会)	9月30日	第1回創発会議	
	実行団選定 (5月15日 面談による選定会議)	10月	進捗報告	
6月8日	全体オリエンテーション	10月・12月	活動現場訪問	
6月21日	会計オリエンテーション	12月2日	ガバナンス・コンプライアンス研修	
	事前評価	2023年 1月30日	第2回創発会議	
6~7月	契約締結	3月	事業完了報告	※左記以外に、毎月オンラインによる面談を実施

### 休眠預金制度とは

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」(休眠預金等活用法)に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等(休眠預金等)を活用する休眠預金制度が2019年度から始まり、国、地方公共団体が対応困難な社会の諸課題の解決を図ったり、民間公益活動の担い手の育成と民間公益活動に係る資金調達を整備するために活用されます。



### 優先的に解決すべき社会の諸課題

「休眠預金等活用法」では、3つの分野を「優先的に解決すべき社会の諸課題」として定めています。

- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p><b>1</b> 子ども及び若者の支援に係る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援</li> <li>② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援</li> <li>③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援</li> </ul> | <p><b>2</b> 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 働くことが困難な人への支援</li> <li>② 社会的孤立や差別の解消に向けた支援</li> </ul> | <p><b>3</b> 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域の働く場づくりの支援</li> <li>② 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援</li> </ul> |
|---|--|---|

# 実行団体活動内容

【50音順】

団体名	事業名	所在地	テーマ			事業内容										
			衣食住の提供	寄り添い型生活相談	学習や就労の支援	食料・食事支援	生活支援	居住支援 シェルター	相談 情報提供	居場所 づくり	研修 学習支援	就労支援	ニーズ 調査	支援者 育成	その他	
(特活) ASTA	ジェンダーニュートラルなイラスト素材の開発・普及	愛知県 名古屋市			○									○		教育・保育の現場への普及
株式会社ideai	6次産業にトライ!～続・未来づくりプロジェクト	愛知県 日進市			○					○			○			
(特活) NPOホットライン信州	コロナ禍での三密回避の多角的寄り添い支援	長野県 松本市	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○		面談・同行生活支援
(特活) えんまる	困窮・孤立ひとり親家庭に向けた宅食・課題解決支援事業	長野県 長野市	○	○		○				○						企業・学校との協働事業
外国人ヘルプライン東海	外国人住民に対応する相談機関へのアウトリーチプロジェクト:もっと多くの外国人に寄り添うために	愛知県 名古屋市		○			○			○		○		○		支援機関・支援者のネットワーク形成
(特活) CAPNA	SOSを出しにくい制度の挟間の家族のための直接支援事業 多機関連携が円滑に進んでいない家族・支援者を支援する事業等	愛知県 名古屋市		○						○		○		○		
(特活) 市民社会研究所 (コンソーシアム構成団体: 特活) ユニバーサル就労センター)	地域のキーパーソンによる「つながりの仕事おこし」事業	三重県 四日市市			○					○				○		地域の事業者、経営団体との連携
(特活) しんしろドリーム荘	テレワーク訓練による就活支援事業	愛知県 新城市			○					○	○	○				
(一社) つなぐ子ども未来 (コンソーシアム構成団体: 特活) ボラみみより情報局)	コロナ禍における困難を抱える家庭へ食を中心とした生活支援事業「みんなのれいぞうこ」による連携支援事業	愛知県 名古屋市	○			○	○									
(特活) トルシーダ	外国につながる若者の進路開拓を支える連携事業	愛知県 岡崎市			○							○	○			進学情報提供、キャリア教育
(特活) 場作りネット	やどかりハウス LINEを活用した一時宿泊、相談支援事業	長野県 上田市	○	○		○	○	○	○	○			○			LINE相談
(特活) 人と動物の共生センター	孤立困窮世帯のペット飼育の課題解決、訪問型寄り添い相談事業 最後までペットと共に「生きがい」のある人生を支えるために	岐阜県 岐阜市		○						○						トレーラーハウスの活用
(特活) POPOLO	働きたい思いに寄り添う就労訓練事業	静岡県 静岡市		○	○			○		○		○	○			




## 特定非営利活動法人ASTA


<https://asta.themedia.jp/>

愛知県名古屋市

### ジェンダーニュートラルなイラスト素材の開発・普及



**事業内容**  
ジェンダーニュートラルな人物を用いたイラスト素材を開発し教育・保育の現場に普及させます。保育園や幼稚園、学校に通学する性的マイノリティの子ども・若者の抱える生きづらさや苦悩を軽減し、従来からある男女のイラスト素材に代わって新たな素材が使われることで、セクシュアリティや障碍に関係なく全ての子どもが自分らしく生きることに貢献します。保育者や教育者に対して性的マイノリティの存在やジェンダーバイアスに気づかせることで、自分自身への違和感や苦痛を形容することが困難な子ども、特に幼児や障碍児のアドボカシーにもつなげます。



**達成目標**

- フライヤー配布枚数：500部
- フライヤー郵送枚数：4000部
- Webページの閲覧数：4500View


**一歩寄り添うための工夫** 教育や保育の専門家や現場で働く人たちの意見を聞きながら、現場のニーズを踏まえたイラスト素材を開発しています。

## 株式会社ideai


<https://www.facebook.com/shuunounosusume>

愛知県日進市

### 6次産業にトライ!～続・未来づくりプロジェクト



**事業内容**  
6次産業化の技術指導に取り組み、参加者のニーズや気持ちに合わせたトレーニングを進めます。同時に、一人一人の環境や生活状態の傾聴的聞き取り、社会福祉協議会との連携による福祉行政へのつなぎ、連携医療機関の協力による健康チェックを実施し、何より心が少しでもラクになれる時間と場所を提供します。具体的なトレーニングとしては、農業・加工作業などの職業訓練を行い、寄り添い支援としては、連携医療機関、社会福祉士、栄養士、JA職員などとの相談を進めます。



**達成目標**

- 参加者の50%が、活動経験を生かした就業を考える
- 参加者やスタッフなどがつながり、参加者の80%が、継続的に業務に参加したいと考える


**一歩寄り添うための工夫** 農産物の生産実習だけでなく、農業の6次産業化を視野に入れ、設備投資と並行して就農の訓練作業を進めています。

## 特定非営利活動法人NPOホットライン信州


<https://hotline-shinshu.jimdofree.com/>

長野県松本市

### コロナ禍での三密回避の多角的寄り添い支援



**事業内容**  
コロナ禍で生活困難者への多角的支援として、県内全域において、365日24時間3密回避の伴走型寄り添い相談・面談同行・生活支援を実施します。県内で100か所以上の子ども食堂の核となる12カ所を中心に対面・食料・学習や就労支援などを実施します。また県内4カ所に生活支援物資の拠点を置き、支援物資の配布と個別対応の宅配の強化策を講じ、このケーススタディにより相談者のニーズに合った専門相談員・行政なども加わり人・物・心を繋ぐ地域のネットワークを強化し、個別のニーズに合わせた支援プランを立案し、総合的な生活支援を展開し、受益者の生活基盤の確立を支援します。



**達成目標**

- 相談、面談同行、子ども食堂などでの支援件数年間3,000名以上
- 支援物資70万点・150トン、支援物資受け取り生活困難者8,000人以上


**一歩寄り添うための工夫** 県内100箇所以上で子ども食堂を展開し、生活圏内でサービスが行き届くように活動拠点を拡大しています。

## 特定非営利活動法人えんまる


<https://www.enmaru.jp/>

長野県長野市

### 困窮・孤立ひとり親家庭に向けた宅食・課題解決支援事業



**事業内容**  
困窮・孤立しているひとり親家庭から助けての声を「待つ」のではなく、周囲に知られない形で食材をお届けし、こちらから「行く」コロナ対応アウトリーチ福祉を継続します。ひとり親家庭と継続した関係性を築き、つながっている安心感を持ってもらうとともに、社会に存在する支援が届きにくい様々な制約や障壁を取り除いた「課題解決型の居場所」設営の取り組みを県立大学、専門機関と共同で行います。既存の制度では、支援が届かない家庭に向けて取り組む事で、地域の見守りの目を増やし、つながりの糸を張りめぐらせ、地域の社会課題解決に貢献します。



**達成目標**

- ひとり親世帯への宅食配布数80世帯、220人
- 長野市内の県立大学、県立高校計7校のトイレに生理用品を1校3,000枚、計21,000枚配置

**一歩寄り添うための工夫** 地元プロスポーツ団体と連携し、地域が抱えている社会課題の情報発信をおこない、多くの対象者に支援が行き届く工夫をしています。

## 外国人ヘルプライン東海

<https://fhelplineinfo.wixsite.com/website-1>

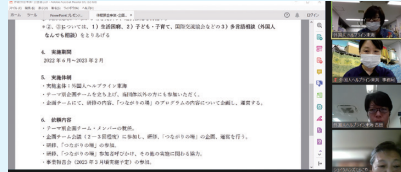
愛知県名古屋市

### 外国人住民に対応する相談機関へのアウトリーチプロジェクト： もっと多くの外国人に寄り添うために



#### 事業内容

- ①関係機関の訪問：相談窓口を直接訪問し、当団体などの外国人支援団体について情報提供を行います。
- ②外国人支援研修：2021年度本助成で作成した「NPO発！相談ガイド」を使用し、外国人住民の困りごとの実態や対応の仕方について学ぶ研修を実施します。
- ③つながりの場の提供：支援が必要なケースの掘り起こしを行うとともに、関係機関がつながる場（ワークショップ）を提供します。



#### 達成 目標

- 研修・ワークショップ参加人数：対象人数の約8割が参加
- 参加者への聞き取り、アンケート：8割の参加者に満足してもらう



#### 一歩寄り添う ための工夫

支援の質を向上するために関係機関がつながる場（ワークショップ）を提供しています。

## 特定非営利活動法人市民社会研究所 (コンソーシアム構成団体： （特活）ユニバーサル就労センター）

<http://www.yokkaichi-npo.net/>

三重県四日市市

### 地域のキーパーソンによる「つながりの仕事おこし」事業



#### 事業内容

コロナ禍により収入が減少している生活困窮者等に対して以下の活動を行い、ユニバーサル社会の創造に貢献します。

- ①仕事おこし人（社会貢献意識の高い地域の中小企業の経営者や企業OB、商店街のリーダー、農業者、市民活動団体リーダー等）を登録と連携し、地域ぐるみのつながりの中から、一人ひとりの状況に応じた仕事を新たに創造します。
- ②当団体の持つ就労支援スキルを生かしたスタッフが伴走人として、一人ひとりに寄り添った就労支援及び定着支援等を行います。



#### 達成 目標

- 「仕事おこし人」登録数10人
- 会議の実施…キーパーソン全体会1回・生活困窮者等10人×各3回=31回
- マッチングトライした全件数…生活困窮者等10人×各2回=20件



#### 一歩寄り添う ための工夫

一人ひとりに合った就労を、心ある地域の人々による「仕事おこし人」という仕組みで実現し、地域ぐるみで支える活動を展開しています。

## 認定NPO法人CAPNA

<https://capna.jp/>

愛知県名古屋市

### SOSを出しにくい制度の挟間の家族のための直接支援事業 多機関連携が円滑に進んでいない家族・支援者を支援する事業等



#### 事業内容

- ①家族間不和や子育て支援に関する相談の中で、年齢や支援制度の挟間で直接支援に結びつかない家族に支援者が直接支援する事業を行っています。
- ②【A】里親・養親向けヒーリングペアレント集中トレーニング【B】里親支援必須スキル集中トレーニング【A】【B】の研修は、里親養親の当事者が複雑な背景を抱え養育に迎えた里子・養子について、愛着障害から表出する問題行動等をいかに養育者としてのスキルアップができるか、愛着障害の症状に特化した学びを深める研修と、家族支援をしている支援者向けの問題を抱え養育に困難を抱える家族に対する有機的なアプローチスキル、アクティブリスニングスキルに特化した研修を実施しています。



#### 達成 目標

- 里親・養親向けの研修の参加者が愛着障害についての機序を学ぶことにより子どもの問題行動がどうして起こるのかを8割以上理解する
- 支援者向け研修では8割以上の参加者が愛着障害理解、支援者がアクティブリスニングスキルを身に着けることで円滑な支援を行えるようになる



#### 一歩寄り添う ための工夫

直接支援チームは、相談者の通う学校への訪問、里親・養親/支援者向け研修会に参加できない人への補講など臨機応変な対応を実施しています。

## 特定非営利活動法人しんしろドリーム荘

<https://dreamso.jp/>

愛知県新城市

### テレワーク訓練による就活支援事業



#### 事業内容

コロナ禍で失業するなどして生活困窮となった者の雇用を回復するために、テレワーク等のICTの知識と技能を習得する講座を実施する事業です。連携する企業の担当者からの講話を行い、就業の心構えを学ぶとともに、就職率の向上を図ります。さらに、生活困窮からの回復で大事である現実の受容と挑戦意欲の醸成を支援するために、講座の合間に受講者から自然な形で傾聴する時間も設けています。



#### 達成 目標

- 講座への出席率8割以上、及び修了試験70点以上を合格とする。なお、必要に応じて補習を行い全員合格を目標にする。
- メル友率100%、就職または転職、起業の達成率70%以上を目標とする。



#### 一歩寄り添う ための工夫

ICTの知識だけでなく、就職活動に役立つ時事的な知識についても学ぶ機会を提供しています。

## 一般社団法人つなぐ子ども未来

(コンソーシアム構成団体：  
(特活)ポラみみより情報局)

<https://tsunagu-kodomo-mirai.org/>

愛知県名古屋市

### コロナ禍における困難を抱える家庭へ食を中心とした生活支援事業「みんなのれいぞうこ」による連携支援事業



#### 事業内容

コロナ禍において、生活困難感を抱える家庭へ支援をつなげることを目的に、新しいインフラ整備「みんなのれいぞうこ」という公共冷蔵庫の取り組みを行います。24時間受取り可能でセキュリティのついた冷蔵庫から、自らの都合の良い時間に非対面で食料支援を受ける事ができます。利用者とスムーズで安全な情報配信をすすめるために、システム管理を導入します。利用者の生活に直結して役立つ食料品を供給できるよう、フードバンクだけでなく企業にも協力を依頼することで、安定的な食料支援活動を実施します。



- 達成目標**
- 名古屋市内6か所で「みんなのれいぞうこ」を運用が始まっている
  - 利用者情報がデータベース化され、申し込み受付管理システムができています

**一歩寄り添うための工夫** 「みんなのれいぞうこ」という仕組みを構築し、24時間随時、冷蔵庫から支援食品を受け取ることができるようにしています。

## 特定非営利活動法人トルシーダ

<https://torcida.jimdofree.com/>

愛知県岡崎市

### 外国につながる若者の進路開拓を支える連携事業



#### 事業内容

中学校を卒業して進路がない外国ルーツの若者や、日本での義務教育年齢である15歳を超えて来日し、日本で進学やキャリア形成したいと考える若者が学べる場がないという課題に対して、進路支援を目的とした日本語教室を実施して進路の見通しを持ち決定していくことをサポートします。地域の日本語教室や高校とネットワークを構築し、外国ルーツの若者が活躍する地域づくりを共に考え、包括的支援体制づくりの一助とすると共に、地域で育つ外国ルーツの若者が活躍できる社会の実現に貢献します。



- 達成目標**
- ネットワーク会議3回
  - 日本語教室の参加者15人、学習時間(週5日x4時間x170日=3400時間)
  - 中高生及び大学生参加者20人x週1回
  - 参加する高校生15人x週1回

**一歩寄り添うための工夫** 高校との情報交換を実施しながら、外国ルーツの若者に対して、日本の高校進学に的を絞った学習指導をしています。

## 特定非営利活動法人場作りネット

<https://buzzcre8net.hatenablog.com/>

長野県上田市

### やどかりハウス LINEを活用した一時宿泊、相談支援事業



#### 事業内容

コロナ以後、生活困窮者や、自殺者(特に女性や若者)の増加、また家庭の抑圧の顕在化を受け、気軽に一時宿泊を伴う生活相談ができ、孤立を解消できるコミュニティ(やどかりハウス)を作ることを目的とします。市民の知恵や工夫を集めながら協働で創出することで「市民の助け合いの力」を増幅させながら、支援機関と市民が協働で支援を展開できる支援拠点を街中に創出することを目指します。対象者はLINEの公式アカウントからアクセスでき、相談や一時宿泊の問合せなどを気軽に行うことができます。孤立しがちな対象者の敷居を下げ新たな「つながり」作りが市民の中に始まり続いていくことを促します。



- 達成目標**
- やどかりハウスLINE公式アカウント友達登録数250名
  - イベント参加者のべ400人、ボランティアのべ100人・各種コミュニティ作り毎回10名目標
  - 宿泊者数30人、300泊

**一歩寄り添うための工夫** LINEなどを活用することで敷居の低い「つながり」をつくり、気軽に相談ができるコミュニティを市民の力を集めながら創出しています。

## 特定非営利活動法人人と動物の共生センター

<https://human-animal.jp/>

岐阜県岐阜市

### 孤立困窮世帯のペット飼育の課題解決、訪問型寄り添い相談事業 最後までペットと共に「生きがい」のある人生を支えるために



#### 事業内容

ペットを飼育している生活困窮世帯(要支援者)が飼育困難を伴う生活の破綻に至る背景には、相談相手がおらず、過剰繁殖・多頭飼育となる前に「予防的に」不妊去勢手術を実施できないことが挙げられます。予防的アプローチには、要支援者と積極的につながりを作る必要があります。メーカー等から提供を受けたペットフードの無償提供を通じ、要支援者とのつながりを作り、飼育相談支援を実施し、飼育の課題を解決するとともに、過剰繁殖・飼育困難に至る前の予防的な不妊去勢手術サービスを提供します。



- 達成目標**
- 相談支援対象者数90件
  - 手術実施頭数180頭
  - 対応相談件数45件

**一歩寄り添うための工夫** 自治体の福祉担当や社会福祉協議会などの専門機関と連携しながら支援を必要とする当事者のニーズを掘り起こしています。



# 特定非営利活動法人POPOLO

<http://npo-popolo.org/>

静岡県静岡市

## 働きたい思いに寄り添う就労訓練事業



### 事業内容

静岡県中部地域、および東部地域に住む、生活困窮者、ひきこもり、非正規労働者、ひとり親家庭、外国人の方、外国人の親を持つ日本人等に対して、オンラインもしくは対面にて、就労支援セミナーや就労体験、キャリアカウンセリング、心理支援など相談者の段階に合わせた個別プログラムや集団職業訓練を本人と一緒に作って作成し、自己肯定感を高めながら就労支援を行います。協力企業を募り就労体験の受け入れだけでなく、雇用に結びつくように相談者と企業とのマッチングを行い就労率も高めます。



- 達成目標**
- 利用者の就労率70%以上
  - 利用者の前向きな変化率80%以上
  - 登録企業数(雇用検討企業数)25社
  - 就労支援などを受ける相談者数50名

**一歩寄り添うための工夫** 就労支援に続き、就労後の定着率を高めるためのフォロー活動も展開しています。



①衣・食・住の提供



②寄り添い型生活相談の実践



③学習や就労の支援

実行団体の活動の情報、事業完了報告書等は、休眠預金制度の指定活用団体一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)より詳細が公開されています。下記のHP等からご覧いただけます。

## 休眠預金活用事業サイト(HP)

<https://kyuminyokin.info/>



## 休眠預金活用事業サイト(Twitter)

<https://twitter.com/kyuminyokin>



## 休眠預金活用事業・情報公開

<https://www.janpia.or.jp/josei/johokokai/>





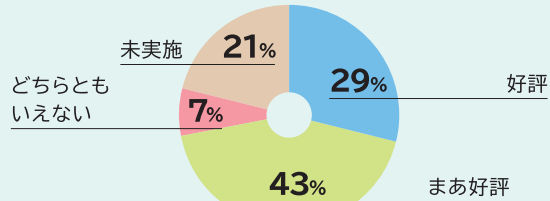
# 創発会議

本事業では、実行団体における支援活動や組織運営の現状と課題、情報とノウハウを共有し、よりきめ細かで充実した活動につなげるための「創発会議」を開催しました。2022年9月30日（金）に第1回の創発会議をオンラインで開催し、15の実行団体の関係者が参加しました。事前に実施したコロナ禍での実行団体の活動状況について聞くアンケートの調査結果を報告しそれを参考に活動の状況や支援活動の関わる工夫・改善状況、組織の状態の変化についてグループに分かれて意見交換しました。以下にアンケート調査結果の一部をご紹介します。

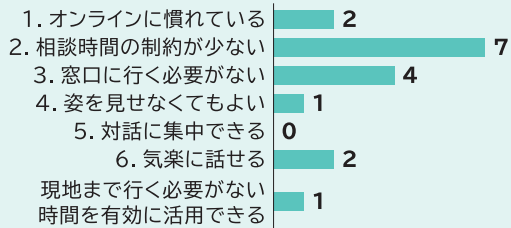
## 》》 実行団体活動アンケート調査結果 ～オンラインを活用した支援と組織運営の現状～

※14団体から回答をいただきました。

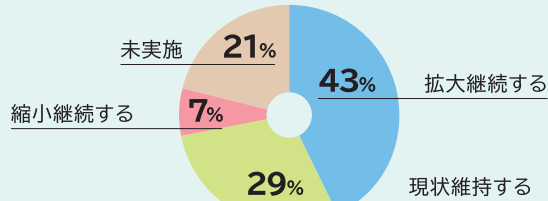
### ● 支援対象者の反応



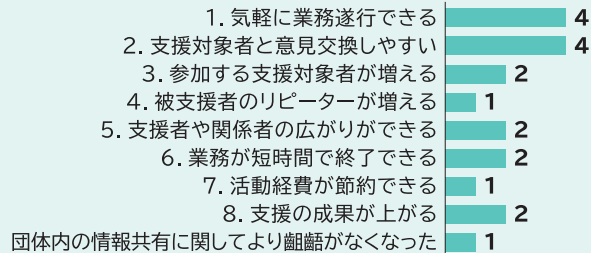
#### ◎「好評」と「まあ好評」と答えた理由



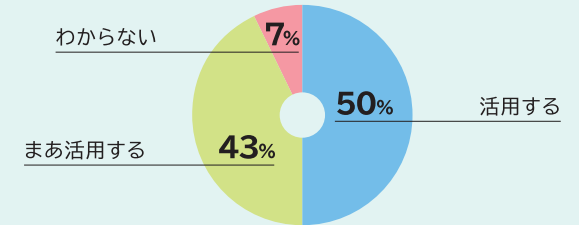
### ● 相談対応業務の継続



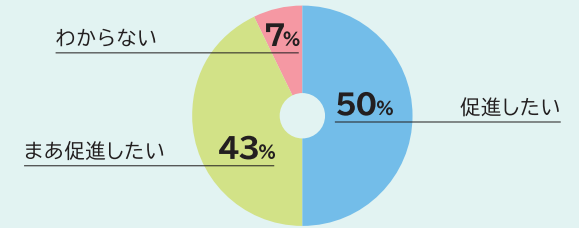
#### ◎「拡大継続する」と「現状維持する」と答えた理由



### ● オンライン会議



### ● 情報のデジタル共有化



## 》》 グループ別意見交換会での主な意見

### 【意見交換のテーマ】

テーマ 1 昨年（2021）年度に比べて、現在の活動状況の回復状況はどうか？  
▶▶▶ 状況認識の共有

テーマ 2 支援活動の関わる工夫・改善状況（オンラインに限らず）  
▶▶▶ 工夫の共有

テーマ 3 組織の変容（組織規模、勤務体制、会議形式、設備投資、人材確保等）  
▶▶▶ 組織体制の共有

### 【主な意見】

- ・活動現場では厳しいコロナ対応を求められることが依然継続しているが、一方でコロナ対応が強いられることにより、オンライン対応を含む支援活動が一気に進んだ状況にある。
- ・コロナ感染者数の増大により、支援にあたる人材が感染の影響を受けており、組織の人的被害は大きい。
- ・事業収入は減少したが、助成等が増え結果的に収入増となっている。コロナが終息すると助成金等は減少すると予想されるので、ポストコロナを見据えた活動を模索している。
- ・ICTを活用したオンライン支援は必須だが、関係性を深めにくいなど、オンラインの特有の課題に対応した支援形態を模索している。オンラインの活用にあたっては支援者と被支援者の関係作りが重要である。
- ・コロナ感染で支援活動から離脱した人材を補うため、支援者と被支援者との境界を取り除き、両者がともに支え合う活動（ピアサポートの実践）を展開するようになり、成果も上がっている。



## 理念

地域や社会の課題解決に向けて活動する民間公益活動団体及びその民間公益活動に対して、資金支援や人材育成等非資金的支援を行うことにより、安心して暮らすことができ持続的発展が可能となる地域社会の形成に努め、もって中部圏（愛知、岐阜、三重、静岡、長野）における公益の増進に寄与する

## 各種募金を募り、中部圏の民間公益活動を支援します。

「寄付（志）」を集めて基金をつくり、民間公益活動推進のために活用します。  
寄付は、常時受け付け、金額に制限はありません。詳細についてはご相談ください。

### ■わたしの基金（冠基金）

寄付をされる方の志に基づいて設置する基金で、寄付者は、名称、助成対象、助成期間を自由に指定でき、寄付者の数に応じた基金の種類を設置します。

### ■いいね！基金（共感基金）

3つの視点から用意している9種類の基金で、各基金の趣旨に共感していただいた方からの寄付を募集し、一定額が集まった段階で助成活動を実施します。

#### 視点1

### 日本社会が抱える 主要課題に対応

- ① 貧困対応の支援
- ② 就労の支援
- ③ 農山漁村の活性化の支援
- ④ 自然災害・  
パンデミック対応等の支援

#### 視点2

### 中部圏における 主要課題に対応

- ① 南海トラフ地震対応の支援
- ② 多文化共生の支援
- ③ 愛・地球博の  
理念継承活動の支援

#### 視点3

### 民間公益活動団体の 組織基盤の強化

- ① ソーシャルビジネスの支援
- ② 民間公益活動団体の  
組織基盤強化の支援

### ■本財団応援基金

本財団の活動を持続発展させていくため、必要な管理費用や調査研究等に使用させていただくために設ける基金です。

## ■組織概要

設立年月日	2018年2月15日
連絡先	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-16愛知県林業会館2階 Tel: (052) 228-0350 Fax: (052) 228-0360 Email: crcdf@crcdf.or.jp URL: https://www.crcdf.or.jp
年間助成額	73,721,688円(2021年度実績)
助成件数	53件(同)

## ■役員

理事長	稲垣隆司	評議員	青木孝弘
副理事長	山田雅雄		岩原明彦
理事	雨森孝悦		内輪博之
	鶴飼宏成		片桐正博
	大西光夫		加藤義人
	大野明彦		新開輝夫
	後藤澄江		鈴木盈宏
	小林宏之		戸田敏行
	服部 敦		戸成司朗
	羽根田英樹		福和伸夫
監事	藤田 哲		森川高行
	吉田歌子	顧問	奥野信宏
	古川一也		モンテ・カセム

## ■事務局

事務局長	神原義治
事務局次長	青木研輔
プログラムオフィサー	青木研輔 栗木梨衣
	三島知斗世
事務局	大西晶子 宇都宮亮二

## 中部圏地域創造ファンド団体紹介

### ■ 休眠預金を活用した助成プログラムの実績

当財団は、休眠預金制度の資金分配団体として、民間公益活動をおこなう団体の事業に対して助成を実施しています。

#### 草の根活動支援事業「NPOによる協働・連携構築事業」（2019年度採択）

「この事業は、困難な社会的課題にチャレンジし、効果的な解決活動を生み出していくために、複数の団体がチームとなって取り組むスキームになっており、助成終了後も協働・連携する体制を構築することを目指しました。「孤独を生み出さないための居場所作りの整備」（長野県上田市）、「多文化多様性の輝く保見団地プロジェクト」（愛知県豊田市）、「自然と生きる若者集団プロジェクト」（岐阜県中津川市加子母地区、下呂市馬瀬地区）の3つのチームの12事業に2020～2022年度の3年間助成しました。」

#### 草の根活動支援事業「チームによる支援活動の広域展開」（2021年度採択）

「この事業は、貧困、引きこもり、ヤングケアラー、不登校等、様々な状況の下で社会的孤立に直面し、悩みを抱え込みながら生活している子ども・若者（外国籍世帯の子ども・若者も含む）に対して、地域社会との多彩な形のつながりを模索し、社会的自立を促す社会的包摂の実現に取り組んでいます。「生きづらさを抱える人々を地域で支えあうネットワーク強化事業」（三重県北勢郡）、「母子家庭等住宅確保困難者に対する、居住から自立まで一気通貫サポート事業」（愛知県名古屋市）、「ホームスタートを核とした、公民連携による地域の子育て支援力の向上と母子の健全育成」（愛知県）、「ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク構築事業」（岐阜県）の4事業に2022～2024年度の3年間助成します。」

#### 新型コロナウイルス対応緊急支援助成2022「生活困窮者や社会的孤立者への支援」（2022年度採択）

「この事業は、生活困窮世帯および社会的孤立者を対象に「衣、食、住」の提供、寄添い型相談、学習・就労支援に取り組むNPO等の活動を支援し、地域社会との連携をより実行性あるものにし、地域社会のソフトインフラと認知される活動を展開することを目指す。2023年度に総額1億円の助成を実施予定。」

SNSで最新の活動情報を  
発信しています

Twitter



<https://twitter.com/chubufoundation>



Facebook



<https://www.facebook.com/chubukenfoundation/>



休眠預金新型コロナウイルス対応緊急支援助成(2022.3-2023.3)

## 生活困窮世帯や社会的孤立者への支援 もう一步! 寄りそってみよう

～ 民間公益活動を支援し持続可能な中部圏の未来を創る ～



一般財団法人 中部圏地域創造ファンド

Chubu region Creative development Foundation

